



ら しん ばん  
羅 針 盤

2021年10月19日 第16号

魚住東中学校 校長室から

## 熱 誠 の 瞳

校長 赤松 弘一



人は人生で何度か真剣なまなざしになることがあります。例えば苦しい練習に耐えて迎えた試合や発表の始まる前、自分の夢をかけて挑む入学試験の時などです。その熱いまなざしには、確固たる意志と、自分への覚悟がみなぎっています。熱誠の瞳とはそんなときの熱いまなざしのことを言います。



午後の授業が終わると、学校中が歌声に包まれます。実行委員を中心に自分たちで一斉懸命合唱に取り組む様子が見られます。『Let's sing together ～咲かせよう 希望あふれる ウタのハナ～』のスローガンが少しずつ形になってきました。

本番は一回きり、やり直しはありません。合唱は形のない芸術です。全員でやり遂げた瞬間に歌声は消えます。後には何も残りません。しかし心には震えるような達成感と熱い思い出が残ります。映画はフィルムを回せば何度でも上映できます。しかし合唱はメンバーがステージにそろって、伴奏があり、指揮者がいて心を合わせなければ生み出されません。「一回きり、やり直しはない」「どうなるかわからない」という緊張感が歌う側にも聴く側にもあります。合唱にはこのような緊張感と、その瞬間だけで消えてしまい、二度と同じものができない美しさがあります。映画では撮影されたフィルムの内容が変わることはありません。俳優は毎回スクリーンで同じ演技をし、失敗はありません。映画を見る側にもそれはわかっています。この点が合唱などのライブとの違いです。

学校生活において、体育大会や合唱などの行事を通して大きく成長する人を見てきました。クラスをまとめるために苦心した末にやり遂げた時の達成感は、自分への自信となります。また時には人とぶつかり、時には人に力をもらいながら取り組む中で、自分の課題に向き合うようになります。それらを通して、他者との協力の大切さと自分を振り返る謙虚さが身に付きます。このような成長をタブレットのリモートで得ることは難しいです。生徒が一堂に会して学校行事を行う意義はそこにあります。

新型コロナ感染防止のために学校生活にも様々な制限がありました。特に合唱については大きな声を出して、思い切り取り組むことができない歯がゆさがありました。そんな中で文化祭の合唱の練習は始まりました。保護者の方々にとりましては、体育大会も学校で参観していただくことができませんでした。この文化祭が今年度初めての学校での行事の参観となります。学年ごとの入れ替えという窮屈な中ではありますが、子どもたちの精一杯の発表をご覧ください。